

第123期

中間事業報告書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで



ISO9001 認証
JQA-1050



ISO14001 認証
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四条町12番8号

株式会社 ロブテックス



株主メモ

決算期	毎年3月31日
利益配当株主確定日	3月31日
中間配当株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月中に開催
名義書換代理人	株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 電話 フリーコール 0120-255-100
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス全国各支社
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表ならびに損益計算書のホーム ページアドレス http://www.lobtex.co.jp

株式会社ロブテックスファスニングシステム本社移転

平成17年10月17日、株式会社ロブテックスファスニングシステム（当社子会社）の本社を移転いたしました。

設立以来、ロブテックス東京営業所内にありましたが、本社機能を東京に集中し効率化を図るために移転し、今後の業容拡大に対応していく所存です。



外 観



玄 関



事務所内

新住所

本 社 〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-5-11
堀留Dビル7階

その他の事業所

大阪営業所 〒579-8051
大阪府東大阪市瓢箪山町9番10号

中部営業所 〒920-0031
石川県金沢市大野町4丁目ル29-1

札幌営業所 〒065-0010
札幌市東区北10条東15丁目2番12号
モンターニュアネックス501号室

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第123期中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。



当中間期のわが国経済は原油価格高騰などの景気悪化要因がありましたものの、堅調な企業収益を背景とした民間設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど景気回復基調が鮮明となってまいりました。当業界におきましては一部に回復の動きが見られますものの、原材料費の上昇や公共投資の減少に加え、企業間競争の激化は依然として継続し、厳しい経営環境下にありました。

このような情勢の中、当社グループは経営目標の達成を目指し、物流センターを独立した組織としてお客様に商品をお届けするまでのプロセスの改善に努め、国内営業部門では市場顧客別展開強化のため新規開拓担当を発足させお客様情報を獲得するとともにコミュニケーション強化を図り、生産・開発部門では生産拠点である子会社鳥取ロブスターツール株式会社における生産効率を高め、本社工場を開発及び品質保証に特化したファブレス工場への転換を進めてまいりました。

その結果、当中間期の連結売上高は29億3千4百万円（前年同期27億2千9百万円）と前年同期比7.5%の増加となりました。利益面では原材料費上昇によるコスト増を販売価格への転嫁や生産効率化で吸収しきれなかったことを主因に営業利益は同28.3%減の1億4千6百万円（同2億3百万円）、経常利益は同32.1%減の9千8百万円（同1億4千5百万円）となりましたが、中間純利益では税効果部分の戻し入れが発生し、1億4千9百万円（同6千2百万円）と前年同期比139.1%の増加となりました。

事業別の概要は次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上におきましては公共投資の減少や価格競争の激化により切削工具では苦戦いたしました。市場開拓型の営業展開の継続により工業用ファスナ

ーが更に伸張し、モンキレンチをはじめとする作業工具についても堅調に推移いたしました結果、前年同期に比べ3.8%増加し、23億9千7百万円（前年同期23億1千万円）となりました。海外売上においてはファスニングツールがアメリカ及びオーストラリア向けに好調なことに加え、韓国向けに電設工具等が伸張し、4億2千9百万円（前年同期3億2千1百万円）と前年同期に比べ33.8%増加しました。金属製品事業の合計売上高は前年同期比7.4%増の28億2千7百万円（前年同期26億3千1百万円）となりましたが、原材料費上昇によるコスト増を主因に営業利益は同38.3%減の1億1千5百万円（同1億8千6百万円）となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

売上高につきましては入場者数が増加し、前年同期比9.5%増の1億7百万円（前年同期9千7百万円）となりました。利益面では増収効果等により営業利益は同82.2%増の3千万円（同1千6百万円）となりました。

今後の経済情勢は景気回復の持続が見込まれますものの、原油価格高騰などの景気減速要因に加え、企業間競争は更に激化し、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと考えております。

このような見通しの中、期後半におきましても、当社グループは市場顧客別の営業展開を進展させますとともに、生産拠点である子会社鳥取ロブスターツール株式会社を効率化させ、開発及び品質保証に特化したファブレス工場の強化を推し進め、開発力・ブランド力・コスト力強化に取り組んでまいります。

通期業績といたしましては、売上高で62億3千万円、経常利益で4億2千万円、当期純利益で3億4千万円を見込んでおります。

なお、期末の配当金につきましては、1株当たり10円を予定しております。

今後の経済環境も、厳しい状況が続くものと予想されますが、皆様方のご支援とご期待にお応えできますよう、全力を傾注して業績の向上に努める所存でございます。

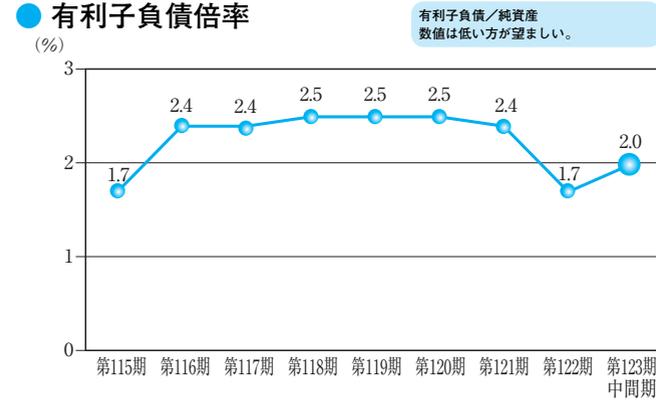
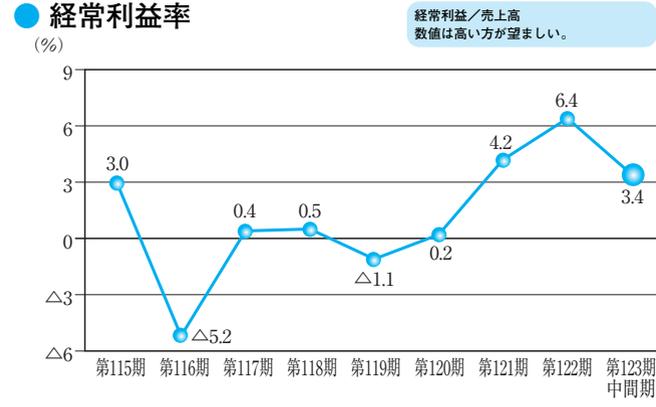
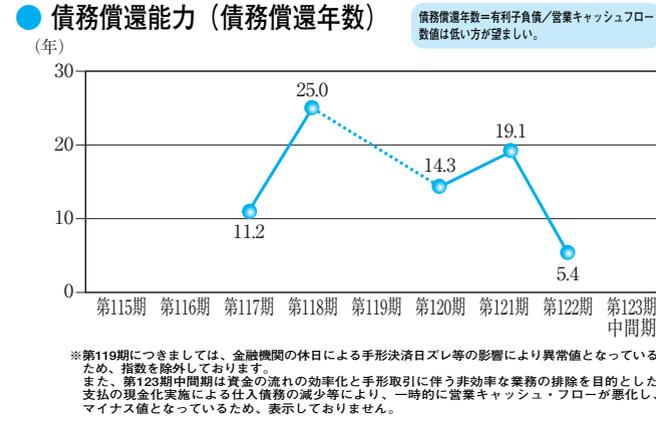
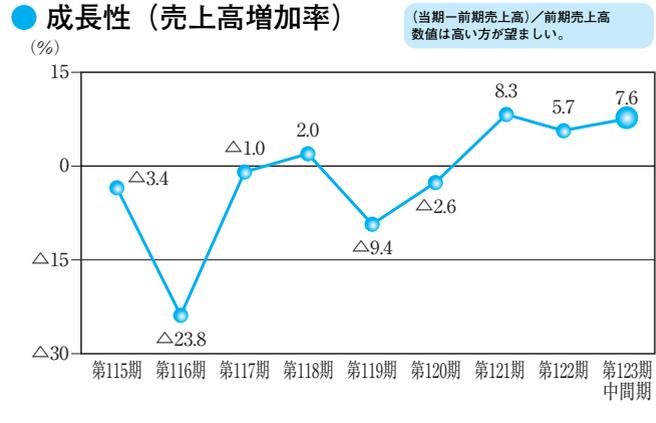
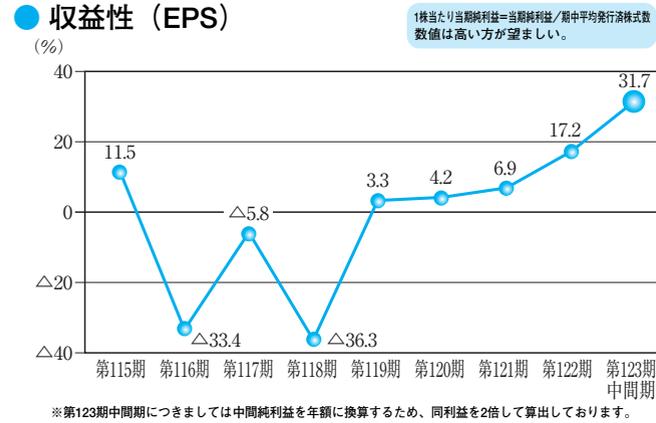
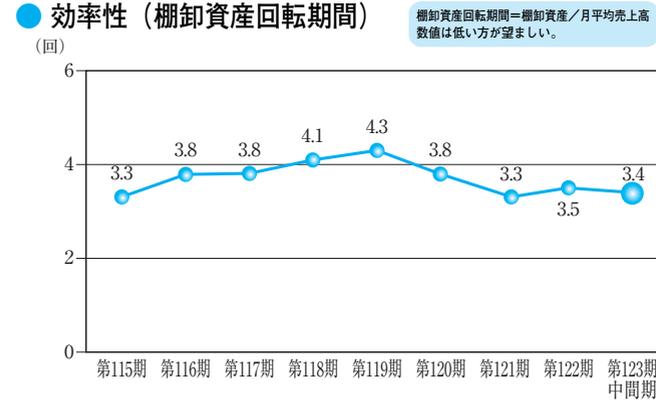
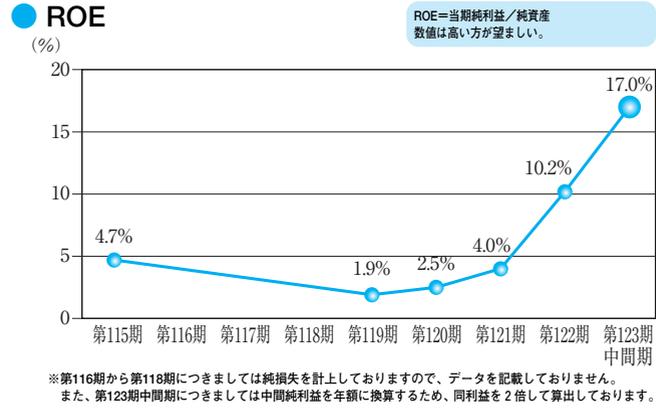
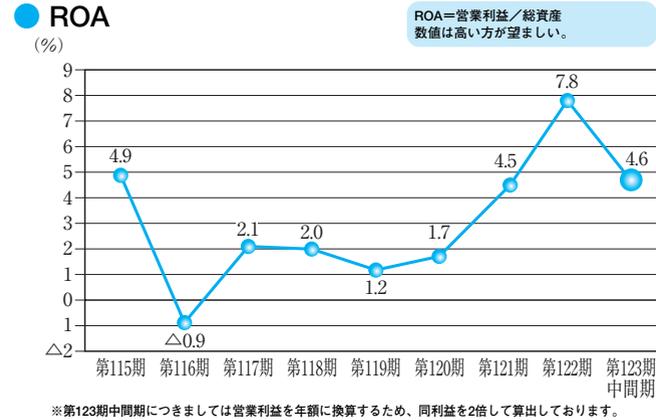
株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成17年12月

取締役社長 **木村士郎**

重点経営指標

下記経営指標月間損益分岐点売上高を除き、連結決算の経営指標であります。



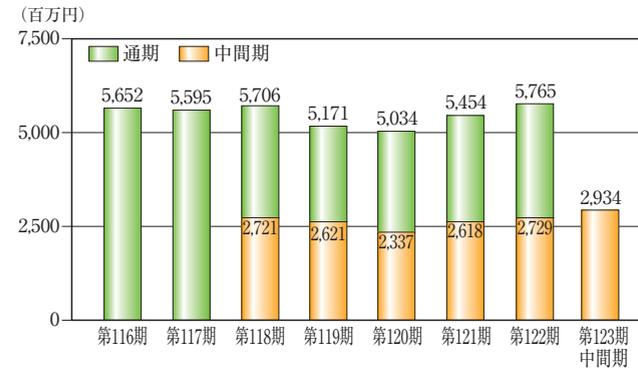
連結業績の推移

● 営業成績

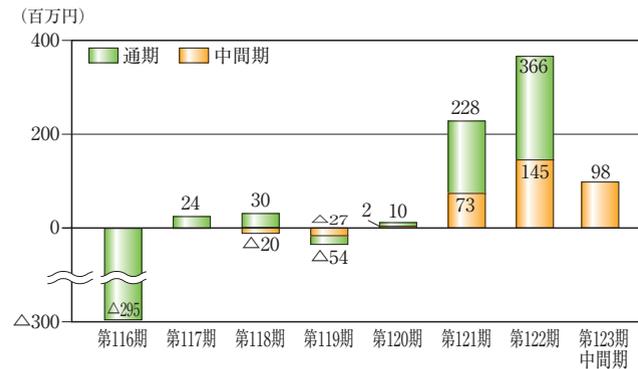
区分	第116期 (平成11年 3月期)	第117期 (平成12年 3月期)	第118期 (平成13年 3月期)	第119期 (平成14年 3月期)	第120期 (平成15年 3月期)	第121期 (平成16年 3月期)	第122期 (平成17年 3月期)	第123期 中間期 (平成17年 9月期)
売上高 (百万円)	5,652 (—)	5,595 (—)	5,706 (2,721)	5,171 (2,621)	5,034 (2,337)	5,454 (2,618)	5,765 (2,729)	(2,934)
経常損益 (百万円)	△ 295 (—)	24 (—)	30 (△20)	△ 54 (△27)	10 (2)	228 (73)	366 (145)	(98)
当期純損益 (百万円)	△ 384 (—)	△ 67 (—)	△ 420 (10)	38 (△15)	47 (△68)	73 (13)	192 (62)	(149)
1株当たり 当期純損益 (円)	△33.40 (—)	△ 5.85 (—)	△36.53 (0.93)	3.31 (△1.38)	4.23 (△5.97)	6.90 (1.21)	17.26 (6.15)	(15.86)

(注) () は中間期の数値であり、第118期中間期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載していません。

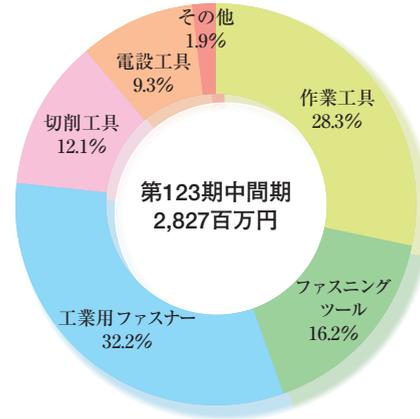
● 売上高



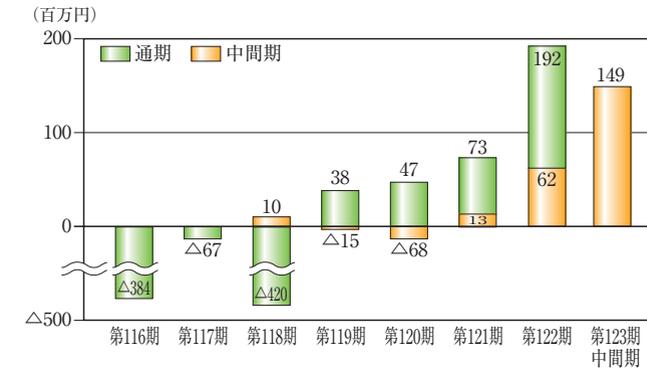
● 経常損益



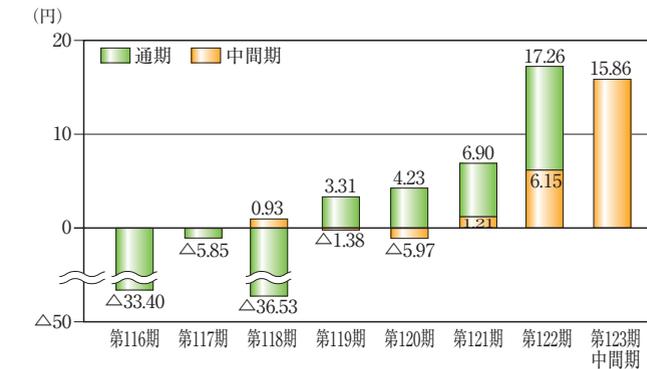
● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



● 当期純損益



● 1株当たり当期純損益



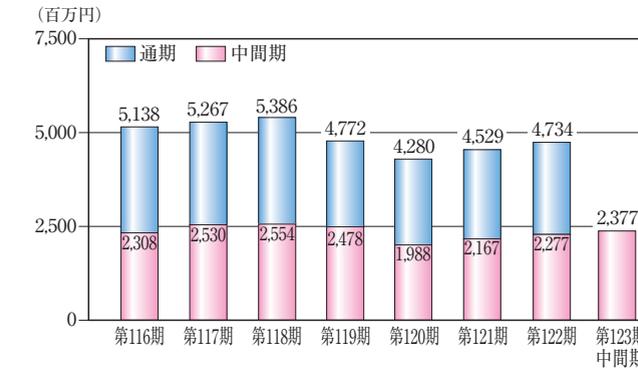
単独業績の推移

● 営業成績

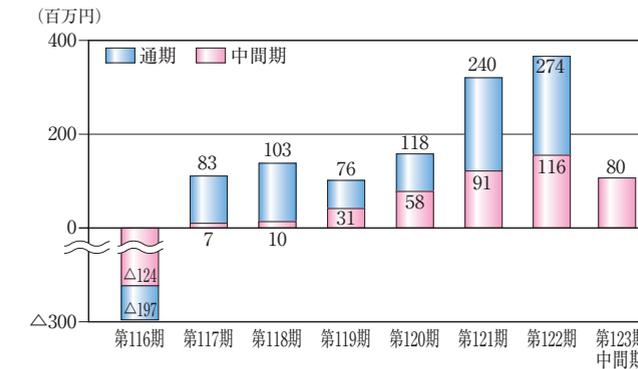
区分	第116期 (平成11年 3月期)	第117期 (平成12年 3月期)	第118期 (平成13年 3月期)	第119期 (平成14年 3月期)	第120期 (平成15年 3月期)	第121期 (平成16年 3月期)	第122期 (平成17年 3月期)	第123期 中間期 (平成17年 9月期)
売上高 (百万円)	5,138 (2,308)	5,267 (2,530)	5,386 (2,554)	4,772 (2,478)	4,280 (1,988)	4,529 (2,167)	4,734 (2,277)	(2,377)
経常損益 (百万円)	△ 197 (△124)	83 (7)	103 (10)	76 (31)	118 (58)	240 (91)	274 (116)	(80)
当期純損益 (百万円)	△ 309 (△290)	7 (△41)	△ 945 (△687)	129 (36)	114 (△39)	87 (30)	134 (42)	(42)
1株当たり 当期純損益 (円)	△26.88 (△25.22)	0.62 (△3.57)	△82.25 (△59.77)	11.29 (3.14)	10.17 (△3.44)	8.18 (2.77)	11.50 (4.14)	(4.54)

(注) () は中間期の数値であります。

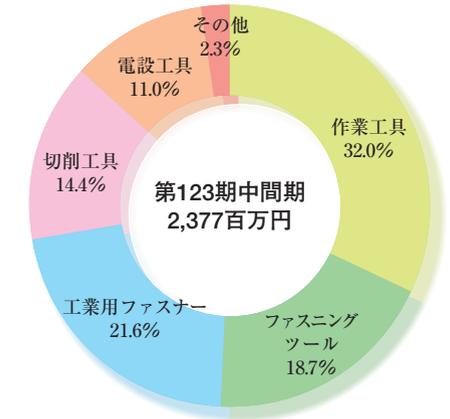
● 売上高



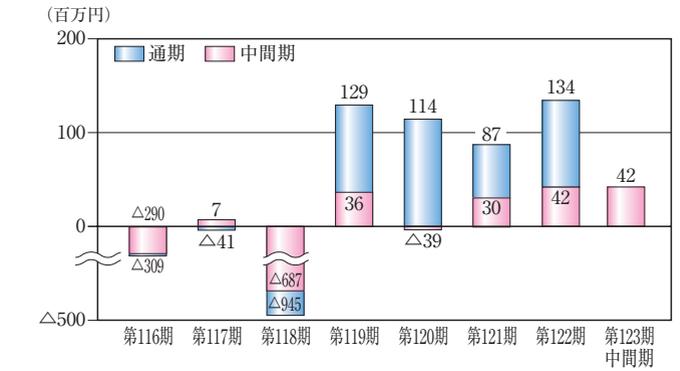
● 経常損益



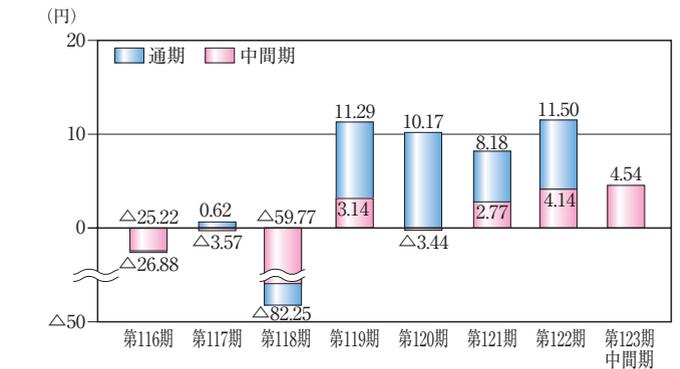
● 品種別の売上高構成比



● 当期純損益



● 1株当たり当期純損益



中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

平成17年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,604,992	流動負債	3,389,041
現金及び預金	588,598	支払手形及び買掛金	706,122
受取手形及び売掛金	1,077,856	短期借入金	1,725,463
たな卸資産	1,638,500	一年内償還社債	560,000
繰延税金資産	42,564	その他	397,456
その他	257,552	固定負債	1,246,145
貸倒引当金	△ 79	社債	300,000
固定資産	2,808,850	長期借入金	927,195
有形固定資産	2,486,009	退職給付引当金	12,560
建物及び構築物	1,388,619	その他	6,389
機械装置及び運搬具	38,560	負債の部合計	4,635,187
土地	954,890	(少数株主持分)	
その他	103,939	少数株主持分	13,594
無形固定資産	7,542	(資本の部)	
投資その他の資産	315,298	資本金	960,000
投資有価証券	91,924	資本剰余金	491,045
繰延税金資産	16,791	利益剰余金	602,624
その他	222,692	株式等評価差額金	28,923
貸倒引当金	△ 16,109	自己株式	△ 316,924
繰延資産	607	資本の部合計	1,765,669
社債発行費	607	負債、少数株主持分及び資本合計	6,414,450
資産の部合計	6,414,450		

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間連結損益計算書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

区 分	科 目	金 額	金 額
経常	営業収益		
	売上高	2,934,352	2,934,352
	営業費用		
	売上原価	2,079,945	
	販売費及び一般管理費	708,298	2,788,244
	営業利益		146,108
損益の部	営業外収益		
	金利スワップ評価益	7,160	
	その他	10,215	17,375
	営業外費用		
	支払利息	34,456	
	売上割引	24,798	
	その他	5,532	64,787
	経常利益		98,696
	税金等調整前中間純利益		98,696
	法人税、住民税及び事業税	7,530	
	法人税等調整額	△ 61,205	△ 53,675
	少数株主利益		2,461
	中間純利益		149,910

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間連結剰余金計算書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高		491,045
資本剰余金中間期末残高		491,045
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高		550,473
利益剰余金増加高		
中間純利益	149,910	149,910
利益剰余金減少高		
配当金	79,760	
役員賞与	18,000	97,760
利益剰余金中間期末残高		602,624

● 子法人等

会社名	株式会社ロブテックスファスニングシステム	鳥取ロブスターツール株式会社	株式会社ロブエース
設立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日
資本金	1,000万円	5,000万円	5,000万円
住所	東京都板橋区高島平2丁目6番4号	鳥取県西伯郡大山町高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町6丁目1番地
事業内容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場
代表者	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 平田正紘

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 40,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,407
現金及び現金同等物の増加額	33,278
現金及び現金同等物の期首残高	555,319
現金及び現金同等物の中間期末残高	588,598

中間単独財務諸表

● 中間単独貸借対照表

平成17年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,894,219	流動負債	3,135,161
現金及び預金	518,154	支払手形	429,466
受取手形	56,058	買掛金	141,907
売掛金	760,663	短期借入金	1,725,463
たな卸資産	1,036,551	一年内償還社債	560,000
繰延税金資産	47,880	その他	278,324
その他	474,980	固定負債	1,232,984
貸倒引当金	△ 68	社債	300,000
固定資産	3,433,859	長期借入金	927,195
有形固定資産	2,405,865	その他	5,789
建物	960,500	負債の部合計	4,368,146
構築物	378,260	(資本の部)	
機械及び装置	38,107	資本金	960,000
土地	952,010	資本剰余金	491,045
その他	76,985	資本準備金	491,045
無形固定資産	5,897	利益剰余金	797,549
投資その他の資産	1,022,096	利益準備金	176,019
長期貸付金	985,686	任意積立金	475,000
繰延税金資産	16,844	中間未処分利益	146,530
その他	343,422	株式等評価差額金	28,868
貸倒引当金	△323,856	自己株式	△316,924
繰延資産	607	資本の部合計	1,960,540
社債発行費	607	負債及び資本の部合計	6,328,686
資産の部合計	6,328,686		

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間単独損益計算書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

(単位：千円)

区 分	科 目	金 額	金 額
経常	営業収益		
	売上高	2,377,168	2,377,168
	営業費用		
	売上原価	1,726,748	
	販売費及び一般管理費	537,816	2,264,565
	営業利益		112,603
損益の部	営業外収益		
	受取利息及び配当金	8,957	
	受取家賃	12,717	
	テリパティブ評価益	7,160	
	その他	4,017	32,853
	営業外費用		
	支払利息	34,456	
	売上割引	24,798	
	その他	5,386	64,641
	経常利益		80,815
	税引前中間純利益		80,815
	法人税、住民税及び事業税	7,300	
	法人税等調整額	30,576	37,876
	中間純利益		42,939
	前期繰越利益		103,591
	中間未処分利益		146,530

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

会社の概要

平成17年9月30日現在

設立 大正12年8月12日
 資本金 960,000,000円
 発行済株式総数 10,500,000株
 本店所在地 東大阪市四條町12番8号
 従業員数 140名
 製造販売品目 作業工具
 ファスニングツール
 電設工具
 切削工具
 工業用ファスナー

事業所

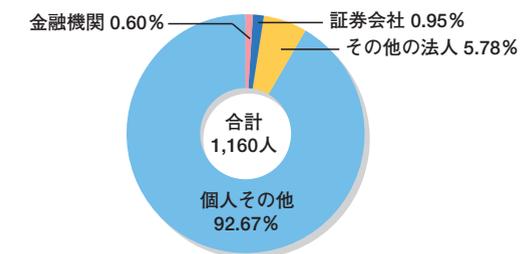
本社 社/東大阪市瓢箪山町9番10号 (〒579-8051)
 ☎0729-80-1110(代)
 本社工場/東大阪市四條町12番8号 (〒579-8053)
 ☎0729-81-3661(代)
 大阪営業所/東大阪市瓢箪山町9番10号 (〒579-8051)
 ☎0729-80-1111(代)
 東京営業所/東京都板橋区高島平2丁目6番4号 (〒175-0082)
 ☎03-3550-3671(代)
 名古屋営業所/名古屋市北区八竜町1丁目40番地 (〒462-0805)
 ☎052-915-0431(代)
 福岡営業所/福岡市博多区山王1丁目7番9号 (〒812-0015)
 ☎092-431-0395(代)
 物流センター/東大阪市四條町7番9号 (〒579-8053)
 ☎0729-81-3664(代)

営業事務所

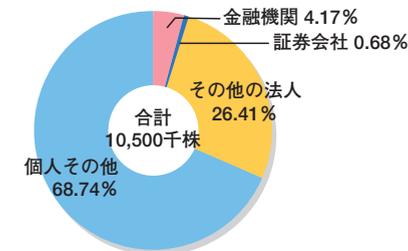
札幌事務所/仙台事務所/盛岡事務所/伊勢崎事務所
 横浜事務所/金沢事務所/高松事務所/岡山事務所
 広島事務所

● 株式の状況

会社が発行する株式の総数 45,000千株
 発行済株式総数 10,500千株
 株主総数 1,160名
 所有者別



所有数別



● 役員

取締役会長 (代表取締役)	地 引 啓
取締役社長 (代表取締役)	木 村 士 郎
取締役	米 川 修 平
取締役	木 村 誠 治
取締役	林 邦 男
取締役	行 俊 直 彦
監査役(常勤)	辻 川 尚
監査役	稲 垣 貞 男
監査役	森 岡 宏 巨
監査役	大 森 利 治